

「新・放課後等の遊び場づくりモデル事業」各校実施状況

1. 「新・放課後等の遊び場づくりモデル事業」実施校

学校名	区	実施回数 旧事業 ↓ 新事業	運営体制	活動拠点	雨天時の対応	特記事項	主な検討テーマ
香椎東小	東区	2回 ↓ 3回	嘱託職員派遣	事務所:家庭科準備室 ランドセル置き場:個別にかごに入れる	体育館で実施 (体育館が使用できないときは、第2音楽室、図書室などの特別教室を使用)	○これまで、嘱託職員をおかず、地域主体で実施してきた。新モデル事業でも、地域を主体とし、嘱託職員はサポート的役割	<地域共働> 地域主体での実施校に、嘱託職員を派遣し、地域との共働による運営のあり方を検証する。
東光小	博多区	2回 ↓ 3回	嘱託職員派遣	事務所:相談室 ランドセル置き場:体育館倉庫内のブルーシート	中止 (途中から降り出し、体育館が使用できれば実施)	○補助員を留守家庭子ども会の補助指導員が勤め、遊びでも連携	<留守家庭子ども会事業との連携> 遊びにおける留守家庭子ども会との連携のあり方について検証する。
南当仁小	中央区	5回 ↓ 5回	嘱託職員派遣	事務所:体育館倉庫 ランドセル置き場:校庭のブルーシート	体育館で実施 (体育館が使用できないときは、図書館、多目的ルーム等の特別教室を使用)	○新モデル事業移行後、屋内施設の活用が拡大 ○学校の協力で、緊急メール配信システムを保護者との連絡に利用	<屋内施設活用> 雨天時、各種企画事業実施時の屋内施設の活用について検証する。
若久小	南区	2回 ↓ 3回程度	地域主体	事務所:PTA会議室を借用 ランドセル置き場:校庭のブルーシート	体育館で実施 (体育館が使用できないときは、多目的教室を使用)	○PTAを中心に、地域主体で事業を立ち上げ、新モデル事業移行後も嘱託職員をおかずに実施 ○実施日は固定せず、月単位で決定	<地域主体による運営> 嘱託職員を配置せず、地域主体による運営のあり方を検討する。
鳥飼小	城南区	3回 ↓ 3回	嘱託職員派遣	事務所:家庭科準備室 ランドセル置き場:校庭のブルーシート	体育館で実施 (体育館が使用できないときは、第二音楽室を使用)	○公民館に校庭から直接行くことが可能 (公民館にてアンビシャス広場事業と連携) ○見守りサポーター記念品を廃止	<公民館との連携> 近接する公民館との連携について検証する。
百道小	早良区	2回 ↓ 3回	嘱託職員派遣	事務所:体育館倉庫 ランドセル置き場:校庭に体育館の更衣室の棚	中止	○西南学院大学との連携について協議中 ○体育館から松林、校庭までと実施場所が多様で、様々な遊びが可能	<大学・学生との連携> 学生の見守り、大学との連携による企画事業等の実施について検証する。
有田小	早良区	2回 ↓ 3回	地域主体	事務所:相談室 ランドセル置き場:個別にかごに入れ、事務所で保管	体育館、卓球室、大会議室、わいわい事務室の中で、使用可能な場所で実施	○PTAを中心に、地域主体で事業を立ち上げ、新モデル事業移行後も嘱託職員をおかずに実施 ○登録を必要とせず、全児童が参加可能	<地域主体による運営> 嘱託職員を配置せず、地域主体による運営のあり方を検討する。

※嘱託職員派遣:コーディネーター1名、補助員1名、見守りサポーター複数名 地域主体:現場責任者1名、副現場責任者1名、見守りサポーター複数名

2. 「放課後の遊び場づくり事業」実施校

学校名	区	実施回数	運営体制	活動拠点	雨天時の対応	特記事項
香椎浜小	東区	2回	地域主体	事務所:余裕教室 ランドセル置き場:校庭のブルーシート	中止	○嘱託職員を派遣せずに地域主体で実施 ○運営体制の強化や実施回数の増加が困難なため不参加
箱崎小	東区	1回	地域主体	事務所:相談室 ランドセル置き場:校庭のブルーシート	中止	○嘱託職員を派遣せずに地域主体で実施 ○運営体制の強化や実施回数の増加が困難なため不参加
金武小	西区	2回	嘱託職員派遣	事務所:体育館倉庫 ランドセル置き場:校庭のブルーシート	中止	○学校から家が遠い児童が多く、また、周辺に遊べる場所も多いため、参加児童数が少ない ○運営体制の強化や実施回数の増加が困難なため不参加